

## 地域住宅生産者グループ

## 住まいづくりネットワーク名取

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
地域型住宅「次代につなぐ家」	宮城県名取市内および仙南地域

## グループの特徴とメッセージ

わたしたちは地域の気候風土にもっともなじむ地元の木材をつかって省エネで快適な住まいづくりのお手伝いをいたします。住まいはつくってから維持管理「家守」が大切になります。住まいは買うものではありません。地元の工務店だからできること、それがともに考え、ともにづくり、ともに育て守ることです。地域工務店のネットワークで「家カルテ」情報を共有して、次の世代に引き継ぐことができる資産価値が目減りしない超寿命の住まいを提案します。「いいものをつかって、きちんとお手入れして、長く大切につかう」そんなあたりまえの住まいづくりを地元で続ける工務店グループです。

## グループの基本情報

グループ名称	住まいづくりネットワーク名取
所在地	宮城県名取市飯野坂5丁目4-20 (有)今野住建内
結成年月	2012年3月
グループ形態	任意団体
主たる業態	住宅建設(工務店)
グループ構成 ※各事業者名は別紙	合計26社 原木供給 : 3社 製材 : 3社 建材流通 : 2社 プレカット : 3社 設計 : 5社 施工 : 10社 その他 : 6社
代表者名	今野文秀(有限会社今野住建代表取締役社長)
主な受賞歴・活動内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年長期優良住宅先導事業採択(実績31棟)</li> <li>平成22年木のいえ整備促進事業採択(実績31棟)</li> <li>セミナー開催(年2回)</li> </ul>

※ グループ内構成員の受賞歴・活動内容

## 連絡窓口

担当者名	大沼浩子(有限会社今野住建)	メール	info@konno-ju.com
電話番号	022-382-1450	FAX	022-382-5435
ホームページ	http://konno-ju.com		
自由記入欄	WEBサイトに「住まいづくりネットワーク名取」の紹介と、専用の問い合わせ窓口を開設します。お気軽にお問い合わせください。		

## 地域型復興住宅の主な工法・価格帯

主な構造・工法	木造軸組工法
価格帯	1,600~2,500万円
価格の基準面積	120㎡
価格に含まない項目	屋外工事費、外構工事費、設計料、諸手続費

\*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。詳しくはお問い合わせください。

## グループ全体の施工実績(年間)

建設戸数*(木造戸建)	100戸	
うち地域材活用の住宅	100戸	
うち長期優良住宅	50戸	
グループとしての施工実績	なし	戸
グループとしての地域型住宅の受注可能戸数	100戸	
自由記入欄(上記以外の実績等)		

## 地域型復興住宅

### 地域型住宅「次代につなぐ家」

#### 地域型復興住宅のイメージと特徴

##### ■ 素材にこだわった正直な家づくり

- ・ 持続可能な近くの山の木でつくる自然素材の家
- ・ 化学物質をつかわない自然素材の家
- ・ 時とともに風合いを増す本物の家  
スクラップ&ビルドの時代は終わりました。

「次代につなぐ家」は安心して住まい続けることのできる超寿命住宅です。

- ・ 近くの山の木を使います。木材をビニールで隠してしまうようなつくりかたをしません。木材は呼吸し、室内の湿度を調整します。
- ・ 自然素材である漆喰、珪藻土などの左官材料も室内の空気質を清浄に保ちます。
- ・ 室内に寒い部屋をつくらないヒートショックのない住まいです。温熱環境のバリアフリー化によって広く住まうことができます。

##### ■ 気候風土にあった快適な住まい

- ・ 地域の気候風土で育った地域材でつくります
- ・ 気候風土を熟知した設計者がともに考えます
- ・ 30年の維持管理システムを継承します。

##### ■ 省エネと創エネ

- ・ ご希望により太陽光発電、パッシブシステムなど省エネと創エネに積極的に取り組みます。クーラーなどの機械設備をできるだけ使わないで、冬は寒くなく、夏は熱くなく過ごせる家をつくります。

庭づくりとシンボルツリーに地域在来種を保存する一坪里山を提案、地域の街並みをつくり地域に愛される住まいづくりを先導します。



#### 代表的事例の概要

構造	木造軸組工法	床面積	1階：97 m <sup>2</sup> 2階：66 m <sup>2</sup>
設計	一級建築士事務所プレアデザイン研究所	施工	有限会社今野住建
施工費	坪単価の目安 60万円（設計費用は除く）	備考	長期優良住宅・パッシブシステム

## 設計方法や地域材活用に関する特徴

### ■ パッシブ・低エネルギー住宅

自然素材で省エネな住まいを実現します  
化学物質を可能な限り排除した健康な住まいを提案します。自然エネルギーで暮らすことができるパッシブな住まいを提案します。冷暖房費は少なく快適に暮らせる住まいを提案します

地震に強い住まいを実現します

現行の建築基準法の1.25倍の地震力で損傷しない耐震等級2以上の性能で設計します。

地域の伝統的な素材を大切にします

雄勝石、白石和紙など世界に誇る地元の素材を魅力的にデザインした地域ブランドにふさわしい住まいを提案します。

### 主に活用している地域材について

地域材の名称	宮城県産材 「みやぎの伊達な杉」等
樹種	杉、ひのき、アカマツ
産地	宮城県
認証制度等	産地証明書
主に取扱う材種	無垢材、防腐処理材
主に取扱う部材	柱材、梁材、羽柄材、内装材
自由記入欄	地域型復興住宅では再生可能な宮城県産材を70%以上活用した住宅を供給します。

## 性能・仕様および施工方法等に関する特徴

### ■ 地震に強い長く安心して住まうことができる住まい

#### ・ 地域型復興住宅「次代につなぐ家」の基本性能

耐震等級2（建築基準法の1.25倍の地震力で損傷しない）、省エネルギー等級4、維持管理等級3、劣化対策等級3を基本性能とします。地震に強い省エネな住まいです。第三者機関の審査を受けて、客観的に住まいの性能を表示します。

#### ・ 使い続けるための工夫

バリアフリーな世代を超えて安心して住める住まいを目指します。ライフスタイルの変化に合わせて住まい方を変えられるよう間仕切りの変更などライフスタイルに応じて可変性を提案します。

#### ・ 地元職人の施工

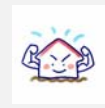
地元の職人が施工します。人工乾燥、プレカットなど現代の技術の優れた点と、昔ながらの手刻みによる職人の技を組み合わせ、現代に求められるハイブリッドな施工方法を模索しています。長く愛着の持てる空間を提供します。

### ■ 「次代につなぐ家」七つの特徴

#### ① 長持ちする家



#### ② 地震に強い家



#### ③ 維持管理が簡単な家

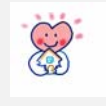


#### ④ 模様替えができる家



#### ⑤ 環境に配慮した省エネ

#### ⑥ バリアフリー



#### ⑦ 維持保存計画と記録





## 地域住宅生産者グループ

# 住まいづくりネットワーク名取

### 地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

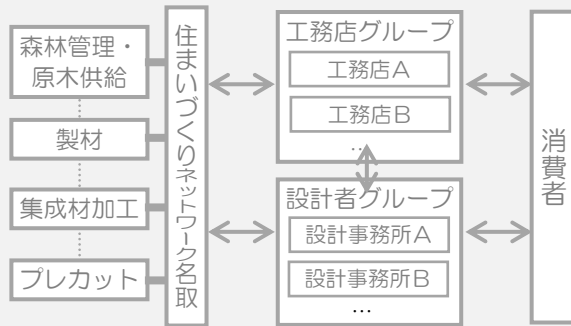
#### ■ ネットワークによる家づくり

- ・住まいづくりネットワーク名取では、川上から川下まで顔の見える家づくりを目指します。

消費者の安心安全を守るため、無農薬野菜のように生産者表示の可能な住まいづくりを目指します。いつ誰がどこで調達した木材なのか、どこでだれが製材し、プレカットはどのように行われたか、流通経路は「家カルテ」に履歴情報として記録されます。



住まいづくりネットワーク名取・資材調達流通ネットワーク体制



### 施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

#### ■ 「e家カルテ」をつかった家歴管理

- ・社会資産として住まいが長く大切につかわれるために家歴情報を施主、工務店、第三者機関の三者で管理するシステムを構築します。

竣工引き渡し時に30年間の維持管理システムを提案します。

瑕疵担保保証期間である10年を超えて、住まいの定期検診を継続します。定期点検のスケジュールはパソコンに管理されたアラートシステムで工務店と住まい手の双方に発信されます。

施工工務店の枠を超えて、地域工務店として地域の財産である住まいの維持管理にあたります。

- ・定期点検に加えて台風や大雨のあとに点検します。  
屋根など高所の点検は危険を伴います。地元工務店ならではのネットワークで迅速な対応をお約束します。  
修理、点検の記録を「家カルテ」に保存します。大切につかわれてきた履歴を持つことで、建物の資産価値が下がることのない地域の社会資産になる住まいを提供します。



